

【講演日時】 H29.3.4(土)17:00～18:30

【開催場所】 サーティーフォー相模原球場 1F 会議室

【講師】 コミュニケーショントレーニングネットワーク(CTN) コーチ 後藤 照典氏

【テーマ】 子どもをやる気にさせるコーチング

【キーワード】 意図

【講演内容】

(1)講義

●「意図(intention)」とは何か？

似たような言葉に「ビジョン」「目標」「目的」があるが、何が違う？ 一例をあげると

「**ビジョン**」…来年、アメリカへ留学する

「**目標**」…そのためには、TOEIC で 700 点取る

「**目的**」…本当の目的は、日常生活に不自由しないため

●「目標」は、「特定性」や「量」を示すもの、「目的」はそれに対する「質」、「ビジョン」は「様相」を表すもの。

●それでは、「意図」は？

上記の例では、「TOEIC700 点を取る」→それにより「アメリカへ留学する」→そして「卒業」して→「外交官になる」→その先には「大使になる」という流れが生まれる。ここに A さんから E さんの 5 人がチャレンジする。A さんは『世界平和のため』、B さんは『自分の限界に挑戦したい』、C さんは『出世のため』、D さんは『お金のため』、E さんは『振られた彼女を見返すため』。この『 』が「意図」である。意図に良し悪しはなく、**自分をパワフルに動かしてくれるもの**。目標は、達成したら無くなるが、意図はついでない。仮に迷っている時があっても、進むべき方向へ戻してくれる。意図に達成はない。

例えば、「東へ向かう」という「意図」を持ったとする。東には、横浜→海→ハワイ→米国本土→ → →と果てしなく続く。しかし、ふと振り返ってみると着実に「東へ向っている」ことは事実。

●「世界平和」と意図した著名人は沢山いるが、ガンジーやマザーテレサといえども、「世界平和を達成したか？」と問われると「YES」とは言えない。しかし、誰一人として失敗したとも思わない。その意図に向かって「何を成し遂げたか」が重要。

(2)グループワーク

二人一組になって「1 ヶ月内で予定していること」について話をする。A さんは自分の予定を B さんへ伝える。B さんは、それに対して、「**それをすることで一体何を創り上げようとしていますか？**」と質問する。A さんは、それに対して答える。B さんは、それに対して同じ質問をする。これを繰り返す。(約 10 分間)

●どうしても、「なぜ？」「どうして？」と質問しがち。しかし、この問いかけは、**過去と環境**に向かっていく質問であり、そこには**自分はいない**。「子供が失敗したから…」「奥さんの機嫌を直そうと思って…」というように。

●それに対して、「**それをすることで一体何を創り上げようとしていますか？**」という問いかけは、**未来**に向かう質問であり、主体は**あなた自身(自分)**。この問いを繰り返していく中で、「意図」を探り続けることが大切。「意図」がドンドンと充満した状態になる。

●そして最後に、B さんは A さんに対して「**それをやり遂げるためだったら、最初に言ったこと(B さんへ伝えた 1 ヶ月以内の予定)はやる甲斐がありますか？**」と尋ね、A さんが答える。

●A さんが次から次へと発言する内容に興味が強くてひかれる人ほど、同じ意図を持っている人であり、お互いが理解しあえる状態。「この〇〇の意図は？」という形で日頃からコミュニケーションを取ってみること。そして周囲の意図を交換し合うことで**お互いの意図を汲み入れる**ことができるようになる。

(3)質疑応答

<Q1>練習や試合の際に**子供に対する問いかけ方**は？

<A1>「**なぜ？**」という言葉は、**否定的**に聞こえてしまう。空振りした時に、「**どうだった？**」と子供に**投げかけてみる**。変えなければいけないことを**自分で考えさせる**ことが重要。子供の場合、「わからない」と答えるケースも多し、それで良い。その場合は、「もう一度やってみようか」、そして「どうだった？」と投げかける。その中で子供の口から発言があった時には、「じゃあ、それをやってみようか」と返してあげること。**本人に気づかせる**ことが大切。

<Q2> シュン…と**凹んでしまった子**へのアドバイスは？

<A2> **慌ててしまった**ケースで例えると、その子と呼んであげて「**どうしたの？**」と尋ねてあげる。何かアドバイスをするのではなく、とにかく**話を聞いてあげる**こと。それだけで霧が晴れるもの。「落ち着け」と言っても無駄。

子供が**黙ってしまう**理由として、「**なぜ**」と問われた時、自分のことを**否定されたように**思え、ドンドンと**追い込まれていってしまう**。例えば、学校で悪さをしたとしても、「**どうしたの？ 何かあったの？**」と尋ねてあげる。大人は答えを早く聞き出したいが、**待つ**ことも大事。子供が黙ってしまった時も同様。その時は**考えている時間**だから。大人はとにかく空のコップと一緒に。その中に何でもいいから放り込んでみなさい、という感じで**受け止めてあげて**欲しい。子供は大人よりも敏感。

<Q3> すぐに**怒ってしまう**コーチ、子供に興味がない保護者との接し方は？

<A3> 叱るのではなく、**聞き出す**こと。何か周囲でうまくいっている事例があれば、「**なぜあのチームはうまくいっているんだろう**」ということと一緒に考えること。例えば、青学の駅伝部はなぜ強くなったのか？ これまでの体育会系は、「**努力**」「**根性**」「**命をかけても**」という精神論。しかし青学の監督は、「**ワクワク大作戦**」「**ハッピー大作戦**」「**サンキュー大作戦**」というのがチームのスローガンとして掲げた。何が違うのか？

<Q4> 子供は、「**褒めて育てる**」のが良いのか？ それとも「**叱って育てる**」のが良いのか？

<A4> これまでは、叱るよりも**褒めて育てた方が**良いという考え方もあったが、最近、過去 20 年間に調査した研究結果が発表された。**褒めて育てた子の特徴**として、「**伸び悩み**」「**自尊心の欠如**」「**依存症**」「**わがまま**」「**すぐに折れてしまう**」という傾向があるのがわかった。勉強や手伝いをした時に、褒められたから嬉しい、だからまた続ける、という流れを繰り返えすが、これは快感の「**快**」を求めている状態であり、勉強や手伝い自体に意義を感じているのではない。その結果、「**嫌だからやらない**」「**辞める**」「**興味がないことはやらない**」という子が増えてきている。

逆に叱られると**嫌だけどやる**、とはいえ**萎縮**してしまうという結果も招く。とにかく「**やるべきことをやらせる**」ことが重要。大人の心理としても、自分の発言で**周囲から嫌われたくない**と考えて発言を控える人もいるのではないか？ しかし、本当にそれで良いのか、大人も考えるべき。

以上